

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	一階と2回を結ぶエレベーターには施錠されており職員に声を掛けなければ自由に利用できない。	自由な暮らしへの支援を目指しエレベーターに施錠せず入居者様が自由に使用できるような環境にする。	身体拘束に関する勉強会等を実施し、職員の認識や連携、リスク対応の共有を深め将来的にエレベーターに施錠せずに、入居者様が自由に使用できる環境を整えていく。	12ヶ月
2	10	家族様の訪問が頻繁にあり、全職員で家族様からの意見が出しやすいような雰囲気作りに努めているが、家族会のような形式は取っていない。	ご家族同士の意見交換や交流の場を提供し、家族会の発足に向けて取り組む。	夏祭りや、クリスマスコンサートなどへの行事参加のお誘いをして、その後に家族様同士の茶話会を設定して家族会へと繋げていく。	12ヶ月
3	26	入居者担当の職員からのアセスメントや家族の意向を反映した介護計画を作成しているが、内容は包括的な表記が多く、具体的なサービス内容が分かりにくい。	個々の入居者のアセスメント、介護計画、モニタリングを3ヶ月毎に行い、具体的なサービス内容を盛り込んだ計画書の作成に取り組む。	個別のケアのきめ細かい記録と情報を共有し、職員の気づきや家族様のご意見を反映させた具体的なサービスの内容を表記し、チームで取り組む体制をつくる。	12ヶ月
4	35	地域で行なわれる防災訓練やホーム内で行なう避難訓練に入居者と共に参加出来ているが、地域住民の参加はない。	火災や地震、水害の災害時に地域住民の協力体制を築けるようにする。	年2回の防災訓練に、ご近所の方にも声かけや、回覧板などを利用して一緒に参加をしていただくようにする。	12ヶ月
5	40	調理の下準備や盛り付けなど一緒に取り組んでいるが、昼食時は職員が食器洗いや片づけをして一緒に食事ができていない。食事中も見えないテレビがつけられたままである。	皆で家庭的な雰囲気を味わうことができるように昼食時は職員も共に食事を楽しめるように支援する。	食事時のテレビについては、必要があればつけるようにして、入居者と職員が共に食事時間を楽しむ事が出来るように配慮していく。	3ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。